



ハートフルなんぶ

2023. 1月号 vol. 29



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川1201番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



あけましておめでとうございます



本年も南部図書館をよろしくお願いいたします

- 『濱地健三郎の呪える事件簿』有栖川 有栖／著 KADOKAWA ≪Fア≫
- 『奇跡を蒔くひと』五十嵐 貴久／著 光文社 ≪Fイ≫
- 『リバー』奥田 英朗／著 集英社 ≪Fオ≫
- 『クロコダイル・ティアーズ』栗井 脩介／著 文藝春秋 ≪Fシ≫
- 『うさぎの町の殺人』周木 律／著 実業之日本社 ≪Fシ≫
- 『タラニス』内藤 了／著 KADOKAWA ≪Fナ≫
- 『鬼女』鳴海 風／著 早川書房 ≪Fナ≫
- 『仕掛島』東川 篤哉／著 東京創元社 ≪Fヒ≫
- 『麻阿と豪』諸田 玲子／著 PHP 研究所 ≪Fモ≫
- 『本が紡いだ五つの奇跡』森沢 明夫／著 講談社 ≪914.6ミ≫
- 『真夜中の密室』ジェフリー・ディーヴァー／著 文藝春秋 ≪933テ≫
- 『脚本力』倉本 聰／著 幻冬舎 ≪912.7ク≫
- 『ルーズリーフ手帳の作り方』マルマン／著 KADOKAWA ≪002ル≫
- 『エリザベス女王』日経ナショナルジオグラフィック ≪289.3エ≫
- 『女人京都』酒井 順子／著 小学館 ≪291.6サ≫
- 『「感じがいい人」の行動図鑑』大野 萌子／著 小学館 ≪361.4オ≫
- 『「執着しない脳」のつくり方』加藤 俊徳／著 大和書房 ≪498カ≫
- 『建築家の自邸探訪』田中 卓志／責任編集 扶桑社 ≪527ケ≫
- 『70歳からのおしゃれ生活』中山 庸子／著 さくら舎 ≪590ナ≫
- 『真夜中のお菓子レシピ』Soyon／著 KADOKAWA ≪596ソ≫
- 『ゆーママわが家の20年レシピ』松本 有美／著 扶桑社 ≪596マ≫
- 『ママヌマ』しり ひとみ／著 大和書房 ≪598シ≫
- 『10秒スピーキング』小西 麻亜耶／著 三修社 ≪837コ≫

今月の 新刊案内



- 『いやです、だめです、いきません』清永 奈穂／著 岩崎書店 ≪368キ≫
- 『スマホで子どもが騙される』佐々木 成三／著 青春出版社 ≪368サ≫
- 『ネットトラブルQ&A』ダルク／著 工学社 ≪368タ≫
- 『日本昭和トンデモ事件大全』辰巳出版 ≪368ニ≫
- 『子どもの防犯マニュアル』舟生 岳夫／著 日経BP社 ≪368フ≫
- 『ALSOKが教えるおひとり女子が自分を守るための本』ALSOK／監修 主婦の友社 ≪368ア≫
- 『だまし犯罪百科』間川 清／著 さくら舎 ≪368マ≫
- 『写真でわかる世界の防犯』小宮 信夫／著 小学館 ≪518コ≫
- 『「サボる」防災で、生きる』寒川 一／著 主婦と生活社 ≪786サ≫
- 『物件探偵』乾 くるみ／著 新潮社 ≪Fイ≫

1月のテーマ 「防犯」



- 第167回 直木賞 『夜に星を放つ』 窪 美澄／著 文藝春秋 <Fク>
- 第167回 芥川賞 『おいしいごはんが食べられますように』 高瀬 隼子／著 講談社 <Fタ>
- 第19回 本屋大賞 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬／著 早川書房 <Fオ>
- 第35回 山本周五郎賞 『黛家の兄弟』 砂原 浩太郎／著 講談社 <Fス>
- 第56回 吉川英治文学賞 『遠巷説百物語』 京極 夏彦／著 KADOKAWA <Fキ>
- // 『やさしい猫』 中島 京子／著 中央公論新社 <Fナ>
- 第75回 野間文芸賞 『ヒカリ文集』 松浦 理英子／著 講談社 <Fマ>

Essay

「詐欺に御注意」

寄稿：ひよこ豆

あいかわらず県内でも特殊詐欺が横行していて、新聞の記事に載ることがあります。詐欺と言えば一昔前だと、電話などで儲け話、うまい話を勧誘してくることが多く、人の欲に付けこむやり方だったと思う。しかし現代の詐欺は、身内の事故やトラブルを偽って不安をあおったり、身に覚えのない請求をして、お金を振り込ませたり、訪問に来た「受け子」にお金やカードを手渡すよう指示するやり方です。とにかく、特殊な電話がかかってくるたら、まず疑ってかかることが大切でしょう。

小説にも犯罪者としての詐欺師が登場するミステリーはありますが、それとは違って悪人を懲らしめるために詐欺師が立ち向かうという趣向の小説があります。私は赤城毅の『紳士遊戯』という小説で初めて「コン・ゲーム」という言葉を知りました。これは信用詐欺という意味ですが、主人公とその仲間は大掛かりな仕掛けで敵をだまして破滅に追い込むのが痛快です。また、読者もうっかりだまされたりして、なかなか面白い。映画で言えば古くは『スティング』、最近では『コンフィデンスマン・JP』があります。他に詐欺師が活躍する小説では、小林信彦の『紳士同盟』、井上尚登の『T・R・Y』、道尾秀介の『カラスの親指』などあり、どれも映画化されています。

目的を達成するために正攻法で行くのではなく、だましたりトリックを仕掛けると言う話は、昔話や神話にもよくあります。例えば北米インディアンの昔話には、火のなかった地上にウサギが火をもたらすお話があります。

昔は天上の世界にしか火はなく地上は寒かった。そこでいたずら好きなウサギが羽根飾りを頭にかぶって天に行き、焚火を囲んでいる天の人たちの前で踊りを踊って見せる。それを見て天の人たちも喜んで踊り出す。そしてウサギは火に近づいてお辞儀をすると頭の羽根飾りに火が燃え移る。こうしてウサギは火を盗み出し、他の動物たちのリレーによって火が地上にもたらされたのです。

こんな愉快なだましの物語もあるのですが、現実の日常生活ではやはり詐欺には用心しなければいけませんね。

参考文献：『紳士遊戯』赤城 毅／著 光文社<Fア>
 『紳士同盟』小林 信彦／著 新潮社<Fコ>
 『T.R.Y.』井上 尚登／著 KADOKAWA<Fイ>
 『カラスの親指』道尾 秀介／著 講談社<Fミ>
 『天の火をぬすんだウサギ』ジョアンナ・トゥロートン／さく 評論社<Eヒ>



南部図書館
開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時
 ■は休館日です

2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2023年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				